

2026年3月1日

No.224

令和7年12月定例会
定例会は年に4回

CONTENTS.

- 2～5p いってみた きいてみた
- 6・7p こんなことを決めました議案審査
- 8p 意見書
- 9～12p ここが聞きたい一般質問
- 13p 定例会カレンダー
- 13p 委員会の視察報告
- 14・15p 議員が語ってみた

かすが 議会だより

KASUGA City Council Report

いつでも!どこでも!おうちでも!
議会を
見に行こう!



議会ウェブサイト



Facebook



Instagram

特集

スリーシー 3Cプラン!

市議会を分かりやすく・親しみある議会に

今年度は、市内6校の中学3年生と市議会が、さまざまな形で交流を行いました。生徒の皆さんが春日市の課題を自ら考え、主体的に提案し、議員との対話を通じて政治を身近に感じることで、将来のまちづくりを担う一歩につながることを期待しています。

先生方から頂いた感想をご紹介します。

10/21
(火)

春日東中学校 議場で「模擬議会」体験

生徒の皆さんが議員役となり、質疑・討論・採決までの議会の一連の流れを体験しました。

緊張しながらも堂々と発言する姿が大変印象的で、一人ひとりの真剣な姿勢が感じられる素晴らしい取り組みとなりました。

感想

- ・生徒はもちろん、教員にとっても貴重な体験になった
- ・議場体験もでき、春日市の政治を身近に感じられた
- ・議員とのフリートークが生徒にも好評だった
- ・議長席に座る貴重な機会をいただいた



11/12
(水)

春日北中学校 社会科の授業に議員参加

春日市の課題について、生徒の皆さんが各班に分かれて発表を行い、それに対して議員が助言を行いました。どの班も時間をかけて課題を調査し、工夫を凝らした分かりやすいプレゼンテーションが大変印象的でした。

感想

- ・生徒たちで考えたプランを提案しアドバイスをもらえた
- ・自分たちで考えた内容の改善点を見いだせた
- ・生徒たちに馴染みがない地方自治を学べた
- ・市議会議員と交流ができてよかった



11/17
(月)

春日西中学校 「ふるさと納税の返礼品」 プレゼン発表会

3年生の中から選抜された6班が、「地域探求～ふるさと納税の返礼品を考えよう～」をテーマに発表を行いました。

それぞれ工夫が凝らされ、新鮮な視点や多くのアイデアが示され、議会としても多くの気づきをいただきました。

感想

- ・地域探求と合わせて学べた
- ・自分たちの住む春日市に目を向けることができた
- ・日頃できない体験を通して学びになった
- ・今後、地方財政についても扱ってほしい



11/19
(水)

春日中学校 授業に議員参加

各クラス2名ずつの議員と交流を行いました。

授業で学習した内容をもとに、議員と直接意見交換を行う時間となり、生徒の皆さんからは、春日市をさらに良くしたいという強い思いが伝わってきました。

感想

- ・授業で学習した地方政治について議員と話しあえた
- ・春日市について学び子どもたちの多くの学びとなった
- ・生徒の願いや財政や市民の意見との兼ね合いなど合意形成について学べた
- ・地方政治について学べた
- ・担当議員とたくさん協議できた



3C (スリーシー) プランとは、
City Council (シティカウンスル) 市議会
Citizens (シティズン) 市民
Connect (コネクト) つながる
の頭文字を表し、『市民の皆さまにわかりやすく、親しみのある議会』を目指しています。

特集 いつてみた きいてみた 3Cプラン!

11/27 (木) 春日野中学校 議場で「模擬議会」体験

3部に分かれ、生徒の皆さんが議場で議会体験を行いました。議会の流れを実際に体験する中で、自分の意見をまとめ、相手に分かりやすく伝えることの難しさを実感する機会となったようでした。

感想

- 実際の議場で自分たちの考えを発表できた
- 議員と交流する中で政治の大切さ、難しさを学べた
- 普段の授業ではできない学びがあった
- 生徒たちの政治への関心につながった



11/25 (火) 春日南中学校 「市議会にアタック」

生徒の皆さんが時間をかけて準備してくださった発表を楽しみにしておりましたが、インフルエンザの流行により、やむを得ず中止となりました。後日、中学生の皆さんから提言をいただき、それを受けて、議会からメッセージ動画をお送りしました。



スリーシー 3Cプラン! いつてみた きいてみた

11/8・9 (土・日) 春日市文化祭

春日市ふれあい文化センターで開催された文化祭にブースを出展いたしました。

朝から夕方まで議員が市民の皆さんに春日市議会をアピールしました。

ブースでは春日市議会の『進化・変化・成長』をテーマとしたパネルを設置し、市民の皆さんに議会SNSへのフォローを呼びかけました。

この取り組みは、まずは『市議会を身近に知ってもらおう』という思いで、今年度は文化祭のほかにも春日日国あんどん祭りやアクロスモール車いすイベントにも出展しました。

少しですが、市民の皆さんに議会を知っていただくきっかけになったのではないかと思います。



11/8 (土) 障がい者啓発スポーツ大会

春日市総合スポーツセンターで開催された「障がい者啓発スポーツ大会」に、議員7名が参加しました。

当日は、障がいのある方もない方も大人も子どもも誰もが一緒に楽しめる「グラウンド・ゴルフ」を通して交流を行いました。

手話を教えていただく場面もあり、会話や笑顔が自然と広がる、あたたかい時間となりました。

議員チームも競技に参加し、全員が入賞するという結果に。

スポーツを通じて、理解と交流を深める大切さを改めて感じる一日となりました。

今後もこのような機会を大切にしながら、共生社会の実現に向けた取り組みを続けてまいります。



10/13 (祝・月) スポーツフェスタモルック大会

春日市スポーツフェスタにおいて開催された「第1回モルック大会」に、春日市議会から16名・5チームが参加しました。

市議会チームは、「スポーツを通じて市民の皆さんと交流を深めたい」との思いで参加しました。当日は暑い中でしたが、グラウンドには笑顔と歓声があふれ、和やかで楽しい時間となりました。

事前に少しだけ練習を重ねて大会に臨みましたが、惜しくも入賞には届かず、結果は35位となり、「三幸賞」をいただきました。



こんなことを決めました

議案審査

令和7年第4回春日市議会定例会

市長提出議案 21件 (条例7件、予算10件、人事2件、報告2件)
意見書 2件



春日市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

・他の行政機関等から迅速に特定個人情報の提供を受けること等により行政事務の効率化に資するため、個人番号を利用することができる事務の追加等に関し、所要の規定の整備を図るもの

【問】子育て世帯訪問支援事業に関する事務を追加することにおいて、市民にとってどのようなメリットがあるのか

【答】以前は市民が課税証明書や非課税証明書、生活保護の確認など、税情報に関する証明書を提出する必要があったが、今後は市側で確認ができるようになり、市民が書類を用意する手間がなくなり手数料もいらなくなる

春日市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

・児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるもの

【問】保育の安全性や質が低下しないようにどのような対策を講じるのか

【答】運営基準を条例で定め、この基準に沿って事業所を認可することで保育の質を確保していく

【問】面積基準を国の基準の約2倍とする中で、保育の質と利用者の利便性確保のバランス、及び利用者数の見積もりをどのように行ったのか

【答】面積基準を県の条例に合わせた3.3㎡以上としているのは、既存の保育との一体的運営が想定されるため、県の基準に合わせた方が良いと判断したためである。利用者のニーズは、第3期春日市子ども・子育て支援事業計画作成時のアンケート結果に基づき算出している

令和7年度春日市一般会計補正予算(第8号)について 補正額/8億2,420万7千円増 歳入歳出総額/456億8,683万9千円

原案可決

【問】かすがふるさと応援寄附金について、9月のふるさと納税急増(1億4,000万円)は、ポイント還元廃止による駆け込み需要が原因なのか。また、今後の寄付の見通しは

【答】9月に寄付金が急増したのは、ポイント還元がなくなる制度改正による駆け込み需要の影響が大きいと捉えている。また、11月から3月までの寄付額は、前年度同月比で約14%減少するという厳しい予想を立てている

【問】コミュニティバス運行補助金(車両購入)について、今回の債務負担行為として計上された3,000万円は購入費用ではないとのことだが、バス1台あたりの価格はどのくらいなのか

【答】コミュニティバス1台の本体価格は約2,500万円前後で、ラッピング費用などを含め3,000万円を限度額として設定している

【問】障害児通所給付費について、サービス種類別の給付費の伸び(見込み)と、年齢層別の利用傾向は

【答】伸び率は放課後等デイサービスが1.171倍、児童発達支援が1.248倍、保育所等訪問支援が1.452倍である。年齢層別では、未就学児頃から増加し、小学校高学年以降減少する傾向にある

【問】生活保護費(生活扶助費等)について、主な増額要因である医療費増加の状況及び被保護者数等の増減傾向は

【答】入院者数が前年度上半期比で15%増加、医療費は18%増加している。一方で、被保護者世帯数は前年同期比で0.5%減、人数は2.8%減と総数としては減少傾向にある

【問】ひとり親分子育て世帯生活支援特別給付金事業について、支給対象をひとり親世帯に限定した理由は何か

【答】物価高騰の影響を最も受けている世帯として、ひとり親世帯が困難を抱えていると判断したためである

【問】ひとり親分子育て世帯生活支援特別給付金事業について、19歳になる年度の障がい児は対象に含まれるか

【答】児童扶養手当の受給者が対象のため、19歳になる年度の障がい児も対象となる

令和7年度春日市介護保険事業特別会計 補正予算(第2号)について

補正額/1,610万7千円増 歳入歳出総額/85億4,425万3千円

原案可決

【問】地域密着型介護予防サービス費の増額補正について、当初の計画見込みとの差が大きくなっているが、その要因はなにか

【答】介護予防小規模多機能型居宅介護および介護予防認知症対応型共同生活介護の利用者増によるものである。前者については、特に要支援2の方が増えたことによる一人当たり単価の増が影響している

【問】介護予防小規模多機能型居宅介護については、通所や訪問、宿泊といったサービスを利用できる、非常に利便性が高いものであるため、今後も利用者増が見込まれるのか

【答】そのように考えている。現在6事業所で運営しているが、さらに1事業所増える予定である



意見書

地方自治法の規程に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出しました。

第4号意見書案 提出者 吉居 恭子 議員

医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定、及び緊急財政支援措置を求める意見書

【要旨】

物価高騰などの影響で医療機関の経営は深刻化し、その多くが崩壊の危機に直面しており、日本病院会などが行った緊急調査によれば、医業利益が赤字の病院は69%、経常利益が赤字の病院は61%にのぼり、前年より大幅に悪化している。また、診療報酬の改定はわずかに0.88%にとどまり、物価高や人件費上昇が十分に反映されていない状況である。その結果、診療料の縮小、入院患者の受け入れ制限、救急医療の縮小・廃止、賃金カットやボーナス減額による医療従事者の大量離職が全国で進行しており、医療現場の人手不足が深刻化している。

この危機的な状況は、国民の命に直結する重大な問題であるため、物価高や賃金上昇に適切に対応する仕組みを導入し、現役世代の負担とのバランスを考慮しつつ、診療報酬の基本部分等を引き上げ、医療従事者の処遇改善を図るよう国に求める。



第5号意見書案 提出者 原 克巳 議員

地方の福祉人材確保の取り組みに向けた財政措置を求める意見書

【要旨】

令和6年人事院勧告を受け、国家公務員の地域手当が令和7年4月から改定された。保育所等の公定価格や児童入所施設措置費、介護・障害福祉サービス報酬などは、この地域手当に準拠した地域区分により算定されているが、今回の改定に伴い、保育所等の公定価格は引き続き検討される一方で、児童入所施設措置費や保護施設事務費等は、自治体との調整がないまま通知等により同年4月から見直されることとなっている。

この見直しで支給額が引き下げとなる自治体では、人材確保にさらに支障が生じ、施設入所者への支援の質低下が懸念されており、対象施設関係者のみならず、他の福祉分野からも不安の声が上がっている。また、保育士・幼稚園教諭、児童入所施設職員、介護・障害福祉サービス従事者などの福祉人材の給与は、全職種平均より一般的に低い状況にある。よって、地方の福祉人材確保に支障が生じないよう、必要な見直しと対策を講じることを国に求める。



第4号、第5号意見書の本文はこちらから



第4号 意見書



第5号 意見書



ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは

議員がその所属する地方公共団体の執行機関に対し、

- ①事務の執行の状況や将来に対する方針などについて質したり、ただ
- ②報告や説明を求めたり、
- ③疑問を質すことをいいます。

一般質問は、定例会に限って許され、臨時会ではできません。

また、質問は議案とは関係なく行政全般について認められます。

いつでもどこでも、QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。



総合計画の自治会についての取り組みの総括は

にし かわ ふみ よ
西川 文代 議員



【問】自治会加入率の目標と現状値、現在考える課題と今後の方向性は。

【答】目標値76%に対し本年度加入率は4月1日現在70.4%。地域住民の自治会への理解を深め加入率をいかに向上させるか、担い手の人材をいかに増やすかが非常に重要であると捉えている。各自治会や自治会連合会と協力し新たな取り組み等を検討していきたい。

【問】まちづくり交付金について検討、説明が必要だがいかがか。

【答】小規模(人口)な自治会の支援に重点を置き見直す方向。



春日市の物価高対策について

はら かつ み
原 克巳 議員



【問】物価高の影響は当初の予想を超え、長期化、慢性化しており、将来に不安があるといった声も寄せられている。速やかに支援策を実行できる準備が必要だ。重点支援地方交付金の活用方針は。

【答】国が示す要件を踏まえつつ、行政が本来なすべき役割を見失うことなく、真に支援が必要な方に必要な支援を届けることができるよう庁内で議論を重ねている。本市の実情に合った、的確で効果的な支援を速やかに実施するべく検討を進める。



子どもに寄りそう切れ目ない教育と福祉の連携

たか はし ゆう こ
高橋 裕子 議員



【問】放課後等デイサービス事業者側から教員が多忙等で連携が取りづらいとの声がある。何らかの対策を取ってほしい。

【答】各学校と連携する放課後等デイサービス事業所数は一番多い学校で児童46人に対し29事業所、少ない学校でも児童14名に対し14事業所。事業所との連絡会議の対応もかなり時間と労力がかかっている。状況を把握し特別支援教育コーディネーター研修会や特別支援学級担任研修会で連携に向けた協議を行っていると考えている。



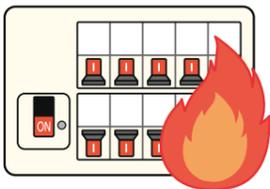
本市の災害対策の充実について

さとう まさゆき
佐藤 誠之 議員



【問】通電火災を防ぐ手段の一つである感震ブレーカーの設置について、本市としても、設置費用の一部を助成することで普及を後押ししていくお考えはないか、本市の見解は。

【答】現在のところ、設置費用の一部を助成することは考えていないが、今後も国や県、他団体の動向などを注視しながら、まずは周知啓発の取り組みに重点を置いて、感震ブレーカーの普及に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。



ワンヘルス推進とアライグマの捕獲について

ふな く ほ のぶ あき
船久保 信昭 議員



【問】ワンヘルス推進宣言を本年10月1日に表明された経緯は。

【答】総合計画に基づく施策の取り組みの中で、ワンヘルス推進宣言の表明が、これまでの取り組みの効果をさらに高めることができると判断した。

【問】那珂川市では、アライグマの個体数が多く生存し、越境することも考えられる。筑紫地区の広域で連携体制の構築などをしていくべきでは。

【答】筑紫地区における連携体制は、アライグマ防除の取り組み状況の共有に努めながら、今後の体制を検討していく。



行政運営とその見える化について

た なか たかし
田中 隆志 議員



【問】総合計画の政策や施策レベルの毎年度の結果や進捗評価等は、公表されていないのか。

【答】指標の進捗を毎年度確認し、庁内共有しているが、外部への公表はしていない。

【問】「主要な施策の成果」について、測定指標や目標値、結果の分析、今後の課題などの欄を設ければ、各事業の進捗状況や現状などがもっと分かりやすく公表できるのでは。

【答】分かりやすさや情報量の面において一定の工夫を重ねてきた。意見は今後の参考とし、引き続き検討する。



事業承継における自治体の支援体制について

さこ けんじ
迫 賢二 議員



【問】後継者が不在の事業者に対して承継支援体制の構築が必要と考えるが。

【答】市が主体的に支援体制を整備する事よりも、支援体制を整えた専門機関に適切に繋ぐ事が行政の役割だと考える。

【問】事業者においても何らかの形で早急に対策を講じるべき案件だと考えるが。

【答】市商工会とも連携を図り、効果的な周知、広報等を検討すると共に専門機関である「福岡県事業承継・引継ぎセンター」を活用した支援に繋げる手法等についても検討していく。



乳がん対策の強化について

もり やま さつき
森山 五月 議員



【問】本市において、痛み軽減機器・ソフトパッド・圧迫緩和装置などの導入状況を伺う。

【答】集団検診では痛みを軽減するため、よりなだらかな圧迫制御と応答性のよい圧迫板反応を用いた機器を使用している。議員御案内の厚生労働省の検査の痛みを配慮したマンモグラフィ検査の推進にあるカーブ形状の圧迫板については、メーカー側から資料も取り寄せ、集団検診に導入できないか検討しているところである。



西鉄春日原駅周辺事業について

うちの あきひろ
内野 明浩 議員



【問】春日原駅周辺整備事業の完了に向けて、春日原駅西口から西日本シティ銀行前の、横断歩道の将来的な安全対策はどうか。

【答】西日本シティ銀行前の横断歩道を利用する方は多数いることから、本市は信号機の再設置を、警察に要望しているところである。春日原駅周辺整備事業は、今のところ令和8年度で全て完了する予定であり、今後も周辺道路の交通安全を確保するため、警察との協議を進めていく。



指定管理者制度のより良い運用について

よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



【問】放課後児童クラブでは、令和2年度633万円、3年度977万円、4年度1,308万円、5年度1,011万円、6年度2,930万円と、毎年度赤字収支だが、市はどう認識しているか。

【答】放課後児童クラブは、協定等に沿って適切に履行され、赤字の影響が及ぶ事実は認められない。また、会社全体では黒字経営であり、指定管理業務の継続が危ぶまれる状況にはない。赤字を出してでも子どもたちに放課後の安全な居場所を提供し、健やかな成長サポートに社会的意義があるとの考えだと聞く。



市内4か所の親水公園について

にしむら すみこ
西村 澄子 議員



【問】老朽化や危険箇所の把握と点検は。
【答】遊具施設を設置している全ての公園・児童遊園は、専門業者が遊具施設の安全点検を年2回実施し職員が月1回以上の巡回で把握。
【問】昇町親水公園の問題箇所、改善が必要とされる箇所の把握は。
【答】一部施設の老朽化や樹木などの課題が生じている事を認識し、再整備に向けて検討中。
【問】増水時の安全対策についての考えは。
【答】須玖南親水公園は、階段降り口の完全な閉鎖を考え、地元自治会と協議の上対策を検討。



住み続けたいまちづくりとしての地域交通

なす じゅんこ
奈須 純子 議員



【問】複合施設完成後の地域交通の構想は。
【答】仮称地域共生交流施設の供用開始は令和11年を予定。新たなバス運行事業者大新東(株)と協議を行い新たな路線となるこの施設と西鉄春日原駅・JR春日駅・JR博多南駅とを結ぶ路線の新設や運行時刻や路線の見直しによる慢性的なバスの遅延の対応など検討対策を行う。
【問】高齢者公共交通助成金を考えては。
【答】現在のところ助成金の施策は考えていない。コミュニティバスの充実や利用促進を図る中で高齢者の外出の支援に取り組む。



ぜひ傍聴に来てください！
議会を見に行こう！

令和8年第1回春日市議会定例会会期日程 会期/29日間(2月24日から3月24日まで)

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23	24	25	26	27	28
	天皇誕生日	本会議 (提案説明)		本会議 補正予算審査特別委 予算審査特別委(審査)	常任委員会 (審査)	
3/1	2	3	4	5	6	7
	常任委員会 (審査、補正予算採決)	補正予算審査委(採決) 予算審査委(審査) 広報特別委 議会運営委	本会議(補正予算採決) 予算審査委(審査)	予算審査委 (審査)	常任委員会 (審査)	
8	9	10	11	12	13	14
	予算審査委 (審査)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会 (採決)		予算審査委(採決) 広報特別委	議会運営委 常任委員会	春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	常任委員会	本会議 (採決)				

- 本会議を傍聴したい方は、市役所1階市民ロビーの傍聴席入口からお入りください。
- 入口横のカウンターに受付簿が置いてありますので、住所、氏名の記入をお願いいたします。
- 本会議の様子は、市民ロビーに設置されているテレビモニターでもご覧になれます。
- 傍聴席は一般席72席、車椅子席4席、親子席4席となっています。



委員会の視察報告

市民共生委員会視察報告

【視察者】北田委員長/吉居副委員長
米丸委員/内野委員/佐藤委員/安部委員

広島県尾道市/地域共生・重層支援の取り組みについて

11/18 人口減少等社会構造の変化により単身世帯や高齢者のみの世帯が急増、コロナ禍の影響で人々の社会的孤立が深刻化、従来の障がい、高齢といった分野別の支援体制の限界との課題認識から「福祉まるごと相談窓口」を設置。支援者支援を明確に掲げ、支援者支援とネットワーク構築の中核会議体「おのまる会議」の運営は大変参考になった。



広島県三原市/三原市地域共生推進プラットフォームについて

11/19 課題が深刻化・重症化する前の「早期発見」を最重要課題と捉え、「誰にでも相談できる窓口がある」をメッセージに、市長が推進する「市民にやさしいまちづくり」と連動させ、積極的なアウトリーチの取り組みで相談が増加。プラットフォーム事業は市内の福祉・医療関係の相談窓口を持つ団体が参加し、制度や分野を超えた連携体制の構築を目指しており、本市の参考になるものと考えている。



すべての議案はこちら



12月定例会 議決結果一覧 賛否が分かれた議案

令和7年第4回(12月)定例会 議決結果	賛 成	反 対	賛否が分かれた議案																	
			公明党	翔春会	春令会	創政会	春陽会	明社会	会派に所属しない議員											
議員名	高橋裕子	原克巳	森山五月	佐藤誠之	船久保信昭	迫賢二	西村澄子	松尾徳晴	米丸貴浩	岩淵穂	安部仰	田中隆志	奈須純子	中村孝三	北田孝織	吉居恭子	内野明浩	西川文代	有村博	
職員の給与に関する条例	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度 一般会計補正予算(第9号)	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和7年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和7年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和7年度 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和7年度 下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※中原智昭議員(春令会)は議長職のため、表決権はありません。

※○は会派代表者 (○賛成 ●反対)

そのほかの議案については全員賛成

議員が語ってみた

「議員って、普段は何を考えているの？」

そんな疑問に答えたくて、私たちの素顔やまち私たちが目指しているのは、市民の皆様と同じいから。まずは、一人ひとりの素顔や志に触れ

への想いを、飾らない言葉でつづってみました。

目線で語り合える「親しみやすい議会」です。政治を遠い存在ではなく、自分たちの暮らしの地続きとして感じてほしい。このメッセージが、皆様と私たちをつなぐ新しい会話のきっかけになれば嬉しいです。



吉居 恭子



気候危機、広がる経済格差、貧困と食糧危機、世界中の軍拡競争に、改善を訴え行動している人々がいます。子どもや高齢者や障がい者など立場の強くない人でも、希望をもって安心して暮らせる優しい国・街にするため、ご一緒にがんばりましょう。

北田 織



夫婦で、2級ラジオ体操指導士資格を取得しました！おなじみのラジオ体操は、令和10年に100周年を迎えます。人生100年時代を迎え、「いつでも、どこでも、だれでも」手軽にできるラジオ体操で、健康寿命を延ばす取り組みを始めませんか！

高橋 裕子



音楽鑑賞が好きで、朝はKポップなどのアップテンポな曲を聴きながら家事や準備を手早く進めます。夜は癒しやヨガ系の音楽で心を整え、一日を静かに振り返る、身近な日常を大切にしています。そんな時間が私の力になっていきます。

森山 五月



日々、市民の皆様とお話しする中で、たくさんの気づきをいただいています。これからも気軽に声をかけていただける身近な存在として、一人ひとりの声を大切に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して働いてまいります。

有村 博



生ゴミコンポストを始めてはや3年。生ゴミ肥料を使って植物を育て始めて2年。生姜やハーブを植えて収穫して料理をして、循環を感じながら環境問題にも取り組んでいる実感があります。春日市のコンポスト補助金でぜひあなたも始めてみてください。

西川 文代



春日ゴスペル愛好会に入会し6年目、感性豊かに歌や踊りで表現することは喜びであり、パワーアップの秘訣にもなっています。市民の皆様の本音の声を聴く場をより多くつくり調査研究を積み重ねて、幸福度を上げる活動をパワフルに展開していきます!!

原 克巳



約29年間、法務教官として少年院で多くの子どもたちと向き合う中、周囲の温かな関わりが成長の糧になることを実感しました。その経験を原点に、春日市の子どもたちが夢と希望を持てる未来を、地域の皆様と共に守り育てていけるよう全力投球！

佐藤 誠之



議員になってから定期的に健康診断を受けています。受けた当初は数字が良くなかったのですが、最近かなり改善できて本当にうれしいです。健康が所掌の市民共生委員として、これからも人一倍健康に気を配りながら活動していきたいと思えます。

船久保信昭



「君が生まれた時、周りは笑い君は泣いていた。だから死ぬ時は周りが泣き、君が笑っているような人生を歩め」という格言があります。この教えのように、最期に心からの笑顔で人生を締めくくれるよう、日々感謝を忘れず精進しています。

迫 賢二



「春日小おやじの会」ってご存じですか？「できる時に、できる人が、できる事をする」をモットーに活動してきて20年になります。OBになっても「手は貸しても口は出さず」を鉄則に若いお父さんたちと楽しんでます。「おやじのポテトはいかがですかー」

安部 仰



これからの時代は産学官民が連携した共創のまちづくりが重要になってきます。また、世代や地域、国籍をも超えた多種多様な声、事業がこのまちの未来を作っていくと思われれます。是非皆様のお声を春日市議会へお聞かせください。

岩淵 穰



平成26年4月の初当選から早いもので10年が過ぎ、昨年全国市議会議長会より永年勤続表彰をいただきました。3期目の任期も残すところ1年余りとなりましたが、初心を忘れず、このまちの発展と皆様のしあわせの実現に力を尽くしてまいります。

田中 隆志



子育ても仕事も現役世代の49歳。皆様との対話やご意見を通じて地域の課題を丁寧に掘り起こし、解決へつなげていきたいと思えます。多様な市民の声が市政に反映され、あらゆる世代がワクワクできる春日を目指して取り組んでまいります。

奈須 純子



議員1期目。わくわく感あふれる春日市にしたい！私の前にいるあなたの声を市政に届けています。子ども達の朝の見守りからシニアのお洒落をして外出しましょう。等、地域の皆さんと共に活動しています。写真は毎年参加している女神輿です。ソイヤー！

中原 智昭



今期は「わかりやすく、親しみのある議会」を合言葉に身近で、顔が見える議会を目指して改革に挑戦してきました。意見交換や、対話を通じて頂いた多くの声が私たちの原動力です。もっと身近で興味を持てる春日市議会を目指します。ご期待ください。

西村 澄子



私にとってスポーツは健康のバロメーター。体の調子も心の元気も、スポーツを通して感じ取っています。今は仲間とビーチボールを30年近く楽しめ、笑い合いながら体を動かす時間を大切にしています。体が許す限り、これからも続けていきたいです。

内野 明浩



「人の喜びをわが喜びとする」をモットーに、ある時は議員として、保護司として、行政書士として、防災士として、川柳作家(内野童里夢)として、混声合唱団の団員として、ウッチーズのメンバーとして、小倉ソフトチームの一員で幅広く活動しています。

中村 孝三



昭和・平成・令和と元号が変わり当時の思い出を振り返る。日銀発行紙幣で当時の事を懐かしく思い起こして、次世代に引き継ぎたい。1万円紙幣が聖徳太子から福沢諭吉へ現在、渋沢栄一へ引き継がれる。皆様の思い出は……

松尾 徳晴



手品がちよぷり出来る、市議会議員松尾徳晴です。機会があれば披露しますよ。春日市小倉生まれ春日小、春日中卒の生粋の春日市民です。私の目的は子どもが夢と希望を持ち、高齢者が安心して暮らし、春日市に住んで良かったと思える街づくりです。

米丸 貴浩



北小学校の通学路で、朝の見守り活動を始めて10年目。現場に立って見えてくる課題、そして解決策。通学路の安全確保への提言はしっかりカタチになりました。議員の原点は現場にあります。春日市の課題に根拠をもって語る議員であり続けます。

議会だより 配ります!



議会だよりって、定例会のあとに年4回発行しているのをご存じですか？

「もっとたくさんの方に読んでもらいたい！」
そんな思いから、会社やお店に置いていただける方へお配りすることにしました。

「置いてもいいよ〜」というところがあれば、ぜひご連絡ください。

こちらからお持ちします！

あなたの写真が表紙に!

コンテスト

次回締切 **3月10日(火)まで**

応募方法詳細は右上のQRコードから!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。
表紙に選ばれなかった写真もSNSでご紹介する予定です。
たくさんのご応募お待ちしております。



次号225号掲載!!
令和8年6月1日発行

1位は表紙に掲載!!

応募作品は議会SNSにて紹介予定

自慢の写真を
ご応募ください!



春日市議会
SNS
発信中!!

皆様の意見を
市政にいかしていきます!

いいね、フォロー、シェア
をお願いします!



「議会だより」では掲載しきれない、市議会の活動や様子などを随時発信しています!
是非ご覧ください。

Instagram

市議会の様々な活動を発信!



YouTube

定例会の様子をご覧ください。
各ページのQRコードから視聴できます。



い 2026年も2ヶ月が過ぎ少しだけ暖かい季節となって参りました。
ろ 皆さまいかがお過ごしでしょうか。
ど 昨年知ったのですが、人は歳を重ねる事に、1年が短く感じるそうです。
り それは、今まで生きてきた年月に比例し、1年という時間が、例えば10歳の子どもたちは、1/10ですが60歳では1年の月日は1/60なので、早く感じるそうです。(諸説あり)
10歳と60歳では子どもの方が6倍長く感じるそうです。

私は、これからますます1年が早く感じるようになってと思いますが、その分たく短く中味の濃い1年間にしていきたいと思ひます。

とも

広報特別委員会

委員長 西村 澄子
副委員長 安部 仰
委員 中原 智昭
委員 有村 博

令和8年3月1日

かすが議会だより No.224

発行/春日市議会 編集/広報特別委員会
春日市議会事務局
住所/〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5
TEL/092-584-1113 FAX/092-584-1146
E-mail/gikai@city.kasuga.fukuoka.jp

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。